

2022年度 日本工学院八王子専門学校											
ミュージックアーティスト科											
音楽業界研究2											
対象	1 年次	開講期	後期	区分	必	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	早川治			実務 経験	有	職種	ミュージシャン、作曲家、プロデューサー、レコーディングエンジニア				
授業概要											
この授業では、譜面が読めて普通にプレイ出来る…に留まらず、昨今のライブ、コンサート等で不可欠な「電気」についての基礎知識…家庭用コンセント1口には約100V/15Aという電気が来ていて…という初歩的な事を習得する…等、お客さんが聴くに耐える「良い音」について触れる。											
到達目標											
本科目前期は、個人的にいくら練習を積んで各パートのプレイテクニックが高くなろうとも、「プロ」の現場ではそれ以外に知っていなければならないこと、出来ていなければならないことが山ほどある。ただ弾けるだけでは不十分なので、レコーディング、ライブステージにおいて必要なプロレベルの良い音を習得する事ができる。											
授業方法											
プロの現場では読譜が出来るだけでは仕事の半分も適わず、その他たくさんの「現場必須項目」がある事を理解する。この授業では、現場では当たり前の壁コンセントの極性といった簡単なことから、アース（グラウンド）、ヘルツ、位相、信号の波形とノイズの関係（バランス、アンバランス）、各楽器の特徴及び簡単な扱い方、アマチュアの方が「やっぱりプロはすごい！」と憧れるような良い音の作り方までの習得を目的とする。											
成績評価方法											
試験60%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、授業内発表20%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、平常点20%(主体的に学習に取り組む態度を評価する)											
履修上の注意											
専門学校は、社会人としての行動・あり方を学ぶ「職業訓練」の場であるという考え方から、他の授業・実習と同様、出席状況については厳しく評価する。また、授業中の態度（居眠り、私語など）にも厳しく対応する。卒業後の自分自身の生きる糧・力を得るものであり、自分自身のこととして主体的な考え方をもち、積極的な姿勢で授業に参加してほしい。なお、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
適時、講師より教材を配布する。											
回数	授業計画										
第1回	前期の振り返り										
第2回	マイクの種類、使い方を理解する。（1）										
第3回	マイクの種類、使い方を理解する。（2）										

2022年度 日本工学院八王子専門学校	
ミュージックアーティスト科	
音楽業界研究2	
第4回	ケーブルの種類、使い方を理解する。
第5回	電源ケーブルの音の違いを知る。
第6回	電源事情の改善による音の違いを理解する。
第7回	EQの種類と使い方を理解する。(1)
第8回	EQの種類と使い方を理解する。(2)
第9回	コンプ/リミッタの種類と使い方を理解する。(1)
第10回	コンプ/リミッタの種類と使い方を理解する。(2)
第11回	ミキサー、PA、モニターの概要を理解する。
第12回	インラインミキサーを理解する。(1)
第13回	インラインミキサーを理解する。(2)
第14回	その他スタジオ機材を知る。
第15回	全体のまとめ